

平成 29 年度 第 4 回  
講座委員会 議事録

日 時：平成 29 年 11 月 6 日（月）15:00～17:00

場 所：地盤工学会 会議室

出 席：野田委員長，

小林幹事，中村幹事，秋本委員，伊藤委員，澤村委員（Web），島田委員，  
丹野委員，細田委員，福田委員，森下委員

欠 席：稲積委員，近藤委員，酒匂委員，澤田委員，重松委員，曾我委員，谷川委員，  
戸邊委員，藤澤がサバー

■ 本日の議事録作成者： 森下委員（次回以降の担当委員予定：秋本→伊藤→稲積）

## 1. 議事録の確認

1) 講座委員会（29.8.7/福田委員/メール配信 10.30）・・・（別紙-1）pp.1-3

→前回委員会の議事録（案）の内容が周知され，承認された。

→3. 2) ⑥の講座タイトルは「サンプリングの極意」とする。

→7. 1) 引用文献の文量の記載については，本会議で再検討した（7. 2）参照）。

2) 関連委員会からの報告

①運営委員会議事録（案）（29.8.21・10.5/中村幹事）・・・（別紙-2）pp.4-9

②公益出版部会議事録（案）（29.9.12/小林幹事）・・・（別紙-3）pp.10-12

→①および②の議事録（案）の内容が周知された。講座委員会に関わる内容は特になし。

## 2. 全体関係

1) 年間活動予定表〔確認〕・・・（別紙-4）p.13

→資料と本日の審議事項を確認し，承認を得た。

## 3. 講座の進捗状況および検討・確認事項について。

1) 「講座」「技術手帳」進捗状況（事務局）・・・（別紙-5）p.14

2) 各講座の進捗状況〔報告〕

①「X線CTから見る土質力学」[H29 下期](藤澤委員)

→第6回の原稿が未受理の状況にあり，手配を継続中である。

②「南海トラフ巨大地震・津波発生の実態に迫る

～強靱な社会の構築に向けて」[H29 下期](中村委員・澤村委員)

（別紙-6）pp.15-16

→原稿は全て受理されており，順調に進行している。

→執筆者から講座原稿の二次利用に関する質問があった。

→現状では学会から配布されるPDFにはプロテクトがかかっており、原稿のフリーダウンロードはNG。

→学会の規定及び過去の対応事例を送付し、各質問について個別に対応したい。規定を外部に出してよいか、文章を変えた場合の転用率の考え方について事務局で確認する。

③「杭基礎の支持層管理・既製コンクリート杭の開発の歴史と

高支持力埋込杭」[H30上期](福田委員) . . . . . (別紙-7) p.17

→講座のタイトルは「杭基礎の支持層確認と支持力確保」とする。

→第二回まで原稿を受け取っている。

④「サンプリングの極意—計画・評価・運用—」[H30上期](稲積委員) (別紙-8) p.18

→講座のタイトルは「サンプリングの極意」とする。

→査読者はリーダーが決定する。査読者案を作成し、別途メールで審議する。

⑤「都市の大深度地下利用（仮題）」[H30下期](小林幹事) . . . . . (別紙-9) p.19

→第4回の内容を除き、執筆者・関係者に承諾を得た。

→第4回については執筆者・関係者の承諾待ち。承諾が得られなかった場合には早急に代替りの執筆者を確保する必要がある。

⑥「耐震設計指針の考え方と地盤および土構造物への適用方法」

[H30下期](伊藤委員)

→今年中に執筆者委員会を開催予定。正式なタイトルは執筆者会議で決定する。

#### 4. 新規講座テーマについて（審議：小林幹事）

1) 31/4～ 掲載テーマ について . . . . . (別紙-10) pp.20-37

→各委員から合計 16 テーマの提案があった。

→このうち4と5のテーマは内容が似ているため統合する。小林幹事よりフォーマットが送られるので統合後の 15 テーマのうち、掲載したいテーマを5つ選定しメールする。

→近年同様の内容がある場合はそれと差別化するようにお願いしたい。

#### 5. 「技術手帳」について（細田委員・重松委員）

1) 進捗状況（報告） . . . . . (別紙-11) p.38

→順調に進行している。

→テーマ名称に特定の工法名称が使用されている場合は削除して頂くよう調整する。

2) 30年テーマ（案）の決定（審議） . . . . . (別紙-12) p.39

→投票による絞り込みの結果、15テーマと予備3テーマが決定した。

→4月掲載分については、1 初旬月締切となるため、現状で執筆者の見当がついているテーマについてお願いしたい。その可否を 11/20 までに報告する。

## 6. 9～10月号の検討・反省

→9月号P43の図-7.1 タイトルに色分けの記載があるが、図がカラーでないため色が識別できない。図-7.2, 図-7.3についても同様。

## 7. その他

1) 事業企画賞候補について . . . . . (別紙-13) pp40-42

2) 講座原稿執筆要領の一部改訂について . . . . . (別紙-14) pp.43-48

→参考文献の引用について次の通り修正したい。

(修正前) ただし、参考文献は最大でも2/3頁程度以下としてください。それを超える数の引用が出てきた場合は、 . . .

(修正後) ただし、参考文献は原則として2/3ページ程度以下としてください。それを超える場合は、 . . .

3) 転載依頼についての報告 . . . . . (別紙-15) pp.49-55

4) 次回の開催日時について 平成30年 1月16日 (火) 15:00～

終了後、新年会あり。

(年5回：6月, 8月, 11月, 1月, 4月)

[参考：28年度 29.1.16]